第2回委員会の振り返りと第5次プランへの反映

豊岡市第5次男女共同参画プラン
第3回 豊岡市多様性推進・ジェンダーギャップ対策検討委員会
2026年11月9日（月）



第2回委員会（10月2日）の振り返り

開催概要

日時
2026年10月2日（金）

13:30〜16:30

場所
豊岡市役所3階 庁議室

出席
検討委員13名・庁内委員9名

アドバイザー2名（大崎麻子氏、田村太郎氏）

形式
5グループでワークショップを実施

1 ５次プラン素案の説明

第1回のご意見を整理し、3つの重点目標と3大アクションプラン（仮称）の体系を説明

2 田村アドバイザー講話

多文化共生推進・田村アドバイザーによる「多文化共生とジェンダー平等」

3 ワークショップ①

「包括的性教育」のサブタイトルと、伝えたいメッセージの検討（大崎アドバイザー進行）

4 ワークショップ②

成長4分野におけるジェンダー主流化のストーリー検討（大崎アドバイザー進行）

ワークショップ①：包括的性教育のサブタイトル案

班	提案サブタイトル（副題）	こども・若者に伝えたい核心メッセージ
A班	**あなたと私の距離（バウンダリー）**	自分の体と心を知り、自分も自分以外の人も大切にしてほしい
B班	**心と体のコミュニケーション**	どの世代も同じ目線に立ち、相手を尊重して行動する
C班	**自分らしく生きるための学び**	自分らしく生きる権利と、相手の生き方を尊重すること
D班	**からだと心とのつながりを含む、新しい学び**	誰もが大切な存在。適切な距離感と対話の技法を身につける
E班	**人生を考えるための成長**	違いを認め、信頼関係と尊厳の上に立つ人間関係を築く

共通する視点　自他尊重／対話と距離感／大人も学び直す／生涯を通じた学び

ワークショップ②：成長分野でのジェンダー視点の主流化

1 観光・交流（A・B班）

障壁　観光協会の役員は男性ばかり。役割分担の固定化と、無償ボランティア依存
提案　女性・若者・外国人・こどもの視点を意思決定層に。報酬のある仕事として参画できる仕組みを

2 グリーン（D班）

障壁　農業は男性の力仕事という固定観念。経営層の男性偏重
提案　女性の経営・法人化、6次産業化へのデザイン思考、農業と観光の季節間ワークシェア

3 健康・ケア・ウェルビーイング（E班）

障壁　ケアや健診同行、PTA活動は女性が担うという風潮
提案　男性の家事・育児・介護参画、ケア労働の価値向上、企業認証制度の創設

4 芸術文化・クリエイティブ（C班）

障壁　「演劇のまち」の効果が、教育や企業の日常に十分還元されていない
提案　演劇WSの手法を企業研修として商品化。大学・演劇人材と企業をつなぐハブを強化

ご意見の反映状況：全体像

第2回委員会のご意見

- 包括的性教育（5班のサブタイトル・メッセージ）
- 成長分野のジェンダー主流化（4グループの提案）
- 多文化共生・演劇・ケア等の論点

第5次プランでの位置づけ

重点目標1

包括的性教育・大人の学び直し

重点目標2
意思決定参画・職場づくり・成長分野

追加・具体化の事業案

16件

重点目標1：5件
重点目標2：11件

ご留意　16件はご意見を事業化する際の参考案であり、実施決定事項ではありません。所管課・予算・既存事業との調整をはかることになります。

反映①：包括的性教育（5件）

第2回委員会でのご意見	反映した事業案（案）	位置づけ・留意点
家庭で親が恥ずかしがらずに話せる方法／子に信頼される相談相手に	**保護者向け「からだ・こころ・人との関係」の学び講座**	新規・重点化候補。参加しやすい名称・時間帯に
「あなたと私のキョリ」／自他尊重／被害者にも加害者にもならない	**同意・境界線・適切な距離感を学ぶプログラム**	既存の性教育を拡充。恐怖をあおらない
メディアと安全／デジタル社会で自分らしく生きるライフデザイン	**デジタル社会の安全・人権学習**	既存の情報モラル教育を再編・重複を調整
アンコンシャス・バイアスのアップデート／大人が変わるべき	**大人のアンコンシャス・バイアス更新講座**	既存研修を統合・拡充。フォローアップも用意
市民に内容・目的が直感的に伝わるサブタイトル	**包括的性教育の市民向け周知・対話機会**	新規。特定の価値観の押し付けを避ける

反映②：成長分野（観光・農業・職域）5件

第2回委員会でのご意見	反映した事業案（案）	位置づけ・留意点
観光協会理事・会長、企画・情報システム部門の男性偏重	**成長分野の意思決定層・企画職における参画状況の見える化**	任意協力・可能な範囲の集計から開始
バスガイド・仲居・配膳は女性、運転・現場作業・農業は男性という固定観念	**成長分野の職種・役割に関する固定観念の見直し**	個人の希望・安全・資格要件を尊重
農業でのドローン・重機活用、DX・スマート化	**農林・環境・インフラ分野のDX・省力化導入支援**	機械導入補助は約束せず、既存制度との連携を確認
女性農家の仲間づくり／食材開発／デザイン・ブランディング	**女性農業者・事業者のネットワークと経営参画支援**	第4次の農業スクール等を継続・再編
夏は農業・冬は観光のマルチワーク／インターン受入れ	**季節間マルチワーク・複業モデルの実証**	雇用条件・社会保険・本人の希望を事前に整理

反映③：成長分野（ケア・働き方・共通基盤）6件

第2回委員会でのご意見	反映した事業案（案）	位置づけ・留意点
ボランティアではできない／正当な対価／非正規の不安定さ	**地域・企業の多様な働き方と有償活動モデルの普及**	ボランティアの意義は否定しない
男性の産休・育休取得時の代替人材・人件費支援	**育児・介護休業時の代替要員確保に向けた企業支援の検討**	市独自補助は財源・制度調査後に判断
ケア労働の価値向上／賃金改善／人手不足の緩和	**ケア分野の職場環境・処遇・キャリアの見える化**	市の権限・財源の範囲を整理し制度と連携
男性の家事・育児・介護スキル／パパ向け講座／男性のコミュニティ	**男性の生活力・ケア参画を高める実践講座**	女性の負担軽減と男性の生活自立の両面で
行政・地域の応援／外国人・若者・子ども等の多様な視点	**多様な人材の参加を支える実施環境の整備**	全施策共通の実施条件としても扱う
多様なアイデアによる新商品・新サービス／ネットワーク形成	**成長分野のモデル事業・実践事例共有会**	障壁・支援策・成果も記録する

講話・演劇・ケア等のご意見と、プラン案の対応

多文化共生（田村アドバイザーの講話から）

プラン案での対応

- やさしい日本語の庁内普及
- 外国人住民の相談での文化的・宗教的配慮
- 支援者向け多文化対応研修
- 就労・子育て・多文化共生情報の一元化

今後の検討課題

入国・転入時の早期アセスメントや通訳環境の整備を、事業案にどう位置づけるか

芸術文化・演劇（C班）

プラン案での対応

- 演劇ワークショップ型教育プログラム
- 芸術文化観光専門職大学等との連携事業

今後の検討課題

演劇ワークショップの手法を企業・金融機関の研修として展開する案（ハブ機能の強化）の具体化

地域・ケア（E班）

プラン案での対応

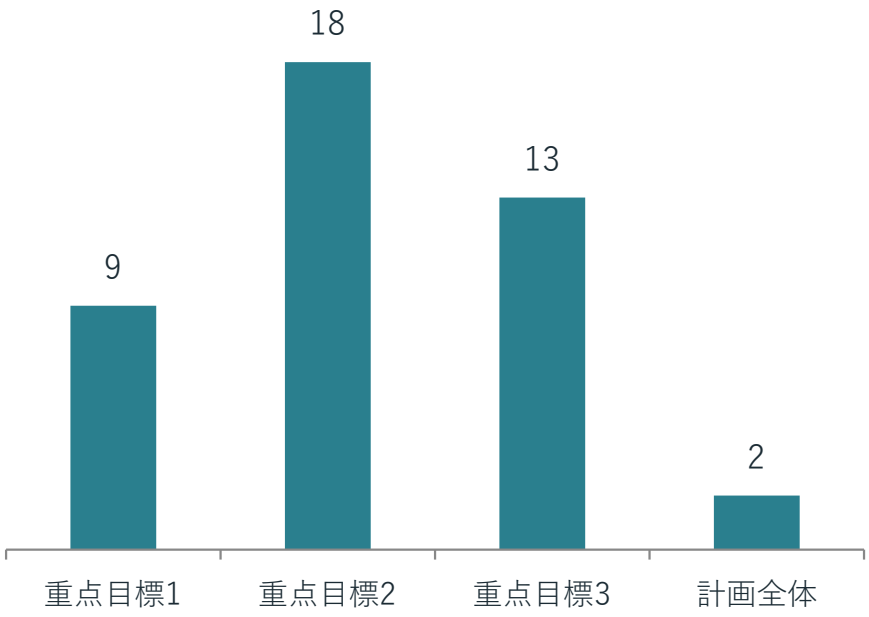
- 「あんしんカンパニー」表彰制度の充実
- 父親向け家事・育児・介護講座
- 審議会・地域組織への女性参画の数値目標

今後の検討課題

ケア労働の賃金引き上げは国への働きかけが必要。企業認証制度は既存の表彰制度との関係を整理

数値目標案（42項目）との対応

数値目標案の内訳（項目数）



計画期間（案）：2027～2031年度

ご意見に関連する主な指標（2031年度目標案）

2	同意・境界線・性の多様性等を扱う授業・プログラムの実施校園割合	80%以上
5	固定的性別役割分担等を見直す必要性を感じる市民割合	+10ポイント
26	女性・若者等が企画・意思決定に参画したモデル事業数	3分野以上
27	託児・オンライン・多言語等、参加障壁を下げる配慮を実施した事業割合	段階的に向上
4	演劇ワークショップ参加者の「他者理解が深まった」割合	80%以上

※現状値・目標値は検討案です。「要調査」「新規」の項目は、初年度に基準値を把握したうえで設定します。

豊岡市 第５次男女共同参画プラン

～ 第５次プラン（案）の施策体系と事業方針の概要 ～

全体像：第５次男女共同参画プランの３つの重点目標

重点目標 1

一人ひとりの人権が尊重され、多様な生き方を選択できる社会

・子どもの頃からのジェンダー平等教育
・包括的性教育の推進
・アンコンシャス・バイアスへの気づき
・多様な価値観の理解
・女性の経済的自立と男性の家事・育児参画
・高齢男性の孤立防止

重点目標 2

誰もが個性と能力を発揮し、自分らしく働き暮らせる社会

・意思決定過程への多様な主体の参画
・旧来の地域慣習・しきたりの見直し
・ワークイノベーションの推進
・柔軟な就業形態
・リスキリング・プラットフォームの構築
・成長分野でのジェンダー視点の主流化

重点目標 3

誰もが安全・安心に暮らすことのできる社会

・あらゆる暴力（DV等）の根絶と支援
・生活困窮・ひとり親家庭等への伴走支援
・外国人住民への多文化共生サポート
・性の多様性（パートナーシップ制度）の理解増進
・性差医療・生理の公平
・多様性視点からの地域防災

事業案の方向性：第4次からの『継承・再編』と第5次の『新規・重点』

■ 既存事業の【継続・再編】（第4次プランからのブラッシュアップ領域）

・機械的な引き継ぎではなく、第5次の目的に沿って「対象・手段・成果指標」をアップデート。
・広報啓発、相談支援、女性の経営参画支援、地域ネットワーク、外国人住民支援などを効果的に統合・再構成します。

■ 第 5 次プランの特色を示す【新規・重点】優先検討事業

1. オリジナル絵本の活用状況の検証 と ジェンダー平等教育実践モデルの共有
2. 発達段階に応じた 包括的性教育（同意・境界線、保護者向け学び講座の新設含む）
3. 演劇ワークショップ を活用した表現力や他者理解力を育む教育プログラムの展開
4. 豊岡キャリア＆リスキリング・プラットフォーム（仮） の構築と運用
5. 就労・子育て・多文化共生情報を一元化する 情報共有プラットフォーム の構築
6. デジタル・観光・農業・福祉など 豊岡の成長分野におけるジェンダー主流化 の実践
7. プレコンセプションケア の普及、特定施設での 生理用品配布（生理の公平対策）
8. 災害時対応における 女性防災リーダー育成 と 多様な当事者に配慮した避難所運営

今後の実務・検討プロセスと評価指標（KPI）の留意点

1. 事業化の際に明確にする項目

各事業の「①主担当課・関係課の調整」「②対象者・実施方法・頻度」「③年度ごとの工程」「④予算・人員・外部連携先」を庁内照会を通じて具体化。

2. 評価指標（KPI）の更新

単なる「開催回数」や「参加人数」といった活動実績（アウトプット）だけでなく、「理解度・行動の変化」「制度の利用率」「意思決定層への参画率」など、成果に近い指標（アウトカム）を適切に組み合わせる。

3. 実務上のステップ提案

①まずは各施策について「継続」「統合・再編」「新規」をクリアに区別。
②主担当（ジェンダーギャップ対策室）を中心に、こども教育、健康増進、社会福祉、地域づくり、防災、商工観光等の関係課との調整・ヒアリングを進める。
③計画本文には事業名をシンプルに掲載し、詳細な内容や指標は「事業実施計画・年次評価シート」に詳記して柔軟に運用する。